

## 令和2年度 宇佐市功労者表彰

### 【一般表彰】

(敬称略)

No.	区分	氏名・団体名	年齢等	住 所	功 績 等
1	3-1	赤松 健一郎	71	院内町 下船木	<p>平成16年4月、大分県交通安全協会宇佐支部の体制強化のため、周囲から推薦されて同支部会長に就任。平成22年5月からは、大分県交通安全協会副会長を務める。氏は交通安全に対する意識が高く、多忙な中であっても役員の先頭に立ち支部運営に手腕を発揮。地域に密着した活動を重んじ、強い責任感をもって街頭啓発活動等を率先して行っている。その結果、人身事故件数や負傷者数は年を追うごとに減少している。</p> <p>また、氏は平成23年6月より大分県物産協会会長、令和元年5月より宇佐市観光協会会長の職に就き、県産品の普及や本市の観光振興にも尽力している。</p> <p>氏の交通秩序の確立、産業・観光振興に対する功績は顕著である。</p>
2	3-1	安心院すっぽん振興会 (会長：塚崎 清彦)	-	安心院町 新原	<p>安心院すっぽんの歴史は、昭和42年、旧安心院町に大分県内水面漁業試験場が設けられ、温泉を利用した冬期加温養殖法が研究されたことから始まる。それを契機に複数の民間事業者が本格的に養殖に取り組むようになり、県内有数の生産地として、独自の専用飼料により品質面でも全国的に知名度をあげた。</p> <p>そのような中、本会は平成15年に設立。「すっぽんウィーク」の企画実施、宇佐グルメフェスタをはじめとした各種観光イベントへの積極的な協力を通して、「安心院すっぽん」の認知度向上に尽力している。さらに、平成26年からは、地元の学校給食へのすっぽんの無償提供や、安心院高校食文化コース生徒に向けた郷土料理講習会の指導も行っており、すっぽん料理を郷土料理として伝える活動にも積極的である。</p> <p>本会の活動は本市の食を通じた観光振興、郷土の食文化の伝承に大きく貢献している。</p>
3	3-1	院内地区まちづくり 協議会 (会長：衛藤 強)	-	院内町 景平	<p>平成22年11月、一つの集落では解決し難い身近な課題に対して、小学校単位で取り組む「地域コミュニティ組織」を設立。地区内にある石橋周辺の清掃や支障木除去、龍岩寺千年祭の実施やトイレ改修、岳切溪谷紅葉ウォーキングの実施等の景観維持活動、独自に作成した「まちづくりカレンダー」の地区内全戸配布等住民の生活支援等に取り組んでいる。そして、昨年度、高齢者の日常生活を支える取組や地域の各種団体に対する人的・物的支援といった新たな取組を明記した10年間のまちづくり計画を策定した。</p> <p>現在の取組をより発展させ今後10年間の活動につなげようとする会の姿勢は、地域住民同士が力を合わせ、考え、行動し、より住み良い地域を作りあげようとする住民自治の推進に大きく貢献している。</p>
4	3-1	津房地区まちづくり 協議会 (会長：菅原 維範)	-	安心院町 六郎丸	<p>平成22年12月、一つの集落では解決し難い身近な課題に対して、小学校単位で取り組む「地域コミュニティ組織」を設立。津房温泉の運営、運動会や文化祭への全面的支援、遊具の塗装や校内備品の転倒予防対策等の環境整備、児童保護者等を連れて地域の名勝を巡る「探訪ツアー」の実施といった津房小学校の教育活動支援、地域の全高齢者へ手作りの道具入れの配布等、住民の生活を支える活動に取り組んでいる。そして、昨年度、福祉・若者支援・移住者支援の3つの活動を大きな柱とする新たな取組を明記した10年間のまちづくり計画を策定した。</p> <p>現在の取組をより発展させ今後10年間の活動につなげようとする会の姿勢は、地域住民同士が力を合わせ、考え、行動し、より住み良い地域を作りあげようとする住民自治の推進に大きく貢献している。</p>

## 令和2年度 宇佐市功労者表彰

### 【一般表彰】

(敬称略)

No.	区分	氏名・団体名	年齢等	住 所	功 績 等
5	3-2	重松 廣明	81	大字長洲	<p>昭和62年より宇佐市カラオケ福寿会会長、平成4年より宇佐市カラオケ連合会会長、平成11年より大分県豊の国カラオケ連盟副会長を務める。</p> <p>昭和62年より週1回カラオケ教室を開催、四日市・長洲・善光寺地区を巡回して歌唱指導を行うとともに、毎年、大分県豊の国カラオケ大会の予選会を開催する等、会員の歌唱技術向上の意欲を高めている。</p> <p>さらに、宇佐市文化協会の活動にも積極的に参加し、副会長として17年間、会員同士の交流や事務局の組織調整、合併時の組織編成に尽力した。</p> <p>長年に亘る氏の一連の活動は、本市におけるカラオケ文化の普及発展に寄与し、その功績は多大である。</p>
6	3-2	院内国際交流会 (会長：佐矢 弘憲)	-	院内町 温見	<p>平成8年4月、オーストラリアの小学校との教育交流を目的に設立。オーストラリアへの教育訪問（ホームステイ）と、オーストラリアからの教育交流団の受入れを相互に続け、今年で活動25年目を迎える。これまでに参加した双方の児童生徒は450名以上にものぼる。本会では、年間を通じて月1、2回の勉強会を重ね、会員間の交流を図るほか、通訳を入れずにホームステイの日程作成、旅行手配を自ら行っている。教育交流団の受入の際には地域住民との交流等も行い、近年は「日米草の根交流サミット大分大会」へ参加、協力するなど行政関連の国際文化行事にも積極的に関わっている。</p> <p>本会の活動は、子ども達をはじめ地域において英語や異文化に触れあう機会を創出するとともに、国際的視点の育成に大きく貢献しており、本市における国際意識の向上、青少年の健全育成に対する功績は多大である。</p>
7	3-4	室 逸子	96	大字南敷田	<p>長年にわたり大分県赤十字有功会・日本赤十字社宇佐市有功会の会員として、多額の私財を寄付する等赤十字活動を支えた。令和2年7月30日には、県赤十字有功会総会において、支部長功労表彰を受賞した。</p> <p>氏の活動は、宇佐市のみならず国内外の赤十字活動の支えとなり、その功績は顕著である。</p>
8	3-4	宇佐高田医師会病院 (院長：柏木 孝仁)	-	大字南宇佐	<p>大分県北部医療圏唯一の感染症指定医療機関である本院は、今般の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、日々、地域外来検査センターとしてPCR検査の実施や新型コロナウイルス感染患者の受入に尽力している。これは、感染症医療チームをはじめとした本院で勤務する全ての人々が、常に感染リスクのある厳しい環境のなか最前線で使命感を持ち業務に従事していることで成り立っており、その功績は多大である。</p>